

武蔵野市の子ども・子育て支援について

○子ども・子育て支援事業 令和3年度決算額 約4,631万円

妊娠期から、全ての子ども・子育て家庭が地域から孤立することなく安心して子育てができるような環境づくり、地域の多様な主体による子育て支援を実施。(直接的なサービス提供のほか、地域の子育て支援団体との連携による環境整備を実施。)

- ・コミセン親子ひろば事業 ・ふたご・みつごのつどい
- ・子育てひろばボランティア養成講座 ・むさしのすくすくナビ
- ・子育て情報誌「すくすく」 ・産前・産後支援ヘルパー
- ・子育てひろばネットワーク (子育て支援団体と行政との連携) など

○子育てひろば事業 (地域子育て支援拠点事業) 令和3年度決算額 約1億1,006万円

地域の身近な場所で、子育て中の親子の交流・育児相談等の事業(子育てひろば事業)を実施している。基本的な事業として、①交流の場の提供・交流促進、②子育てに関する相談・援助、③地域の子育て関連情報提供、④子育て・子育て支援に関する講習等がある。それぞれの施設において、利用者の目線に立った子育て支援を行い、子育てにおける負担の軽減や、利用者同士の交流の機会の提供を図る。

○認可保育所での子育て支援事業

認可保育所では家庭で保育をしている親とその子どもを対象に子育て支援事業として様々な催しを行っている。

- ・あかちゃんのひろば ・園児と一緒に誕生日会や季節行事 ・プレママのひろば
- ・育児講座

○一時保育・一時預かり 令和3年度決算額 約1,964万円

保護者が通院やリフレッシュなどの理由で一時的に保育ができない場合に、保育所等で子どもを預かる。

*令和3年度決算額は民間分のみ

○定期利用 令和3年度決算額 約873万円

保護者の就労等の理由で子どもの保育ができないときに、1か月単位で継続的に子どもを預かる。

○ベビーシッターによる一時預かり利用支援事業補助金 令和3年度決算額 約2,203万円

日常生活上の突発的な事業等により一時的に保育を必要とする保護者に対して、ベビーシッターの利用料の一部を助成する。保護者の残業や病気、自己実現、学校行事などの理由で利用でき、保育認定の有無は問わない。

○ファミリー・サポート・センター 令和3年度決算額 約 933 万円

子育てのお手伝いをしてほしい方（ファミリー会員）と、お手伝いをする方（サポート会員）の、地域のなかの支え合いの活動。リフレッシュのためなど理由を問わず、子どもの送迎や預かり等を行う。